

地球温暖化のせいか、めっきり雪が降らないと油断していたところ、雪が積もった。一面真っ白の銀世界はめったに見られない景色であるが、外出する者にとっては一大事で、特に福祉施設は大変である。通所施設では送迎があり、入所の施設においては、早出、日

吉田川

勤、遅出といった勤務シフトなので、朝6時半や7時の早出職員が来なければ、夜勤者だけでは入所者の朝の日課がこなせない。

昔アダモという歌手が歌って流行った「雪が降る」という歌の「雪が降る。あなたは来ない」という歌詞をもじって、「雪が降る。早出は来ない」などと浮かれている。

14 422

雪模様

るわけにはいかない。しかし少し遅れてでも職員は必ず出勤する。早出職員が遅れることにより、入所者への無理な介護や事故につながる場合があることはプロとして肝に銘じてある。たとえ2時間くらいかかっても歩く覚悟はできている。

とは言え、交通機関が動かなかったり、道路の大渋滞で遅れることは、心構えだけではいかんともしがたい。その場合は前日からの泊りがけとなる。

2月は大学の期末試験の真っ最中である。遠距離通学をしている1年の男子学生が、積雪が予想されていたため、前日から大学周辺に泊まるうと友達に電話をかけるが、アルバイトなどで連絡がつか

ず、途方に暮れて夜遅くまで大学の周辺にたたずんでいた。

ちよと顔見知りの3年生の女子学生3人が通りかかり、声をかけたところ、男子学生は「このまま大学の中で夜を越そうと思っていた」とのこと。この3人もそれぞれアパート暮らしである。じゃあ自分たちのアパートに泊まったら、ということと3人が同じ部屋で男子学生を泊め、ついでに勉強も教えたらしい。さまざまな雪模様がある。

福山平成大准教授

大深 俊明

1週間後、また雪が降った。テレビで気象予報士が、「無理な外出は控えましょう」と最高のアドバイスをするが、なかなかそうもいかない。とにかく転ばぬ先の杖

で臨むしかない。